

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	47 -	事業名	子育て支援センター運営事業	担当部課	福祉部子育て支援課
------	------	-----	---------------	------	-----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち	会計	1	一般会計
		分野別項目	9	安心して子育てができる環境をつくる	款	3	民生費
		施策の進め方	2	子育て支援の充実	項	2	児童福祉費
	まちづくり 行程表	フラッグ	-		目	1	児童福祉総務費
		政策分類	-		大事業	8	子育て支援センター 運営事業
	その他(関係法令、要綱等)		子ども・子育て支援法				
事業開始の背景、経緯等		平成20年度から、次世代育成支援法(当時)に基づき、子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助を行うものとして開始した事業。					

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 子育て親子の交流の場の提供、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供、子育てに関する講習会等の実施。					
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内の子ども及び子育て中の保護者					
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 子育て環境の孤立化を防ぎ、虐待のない健やかな環境で子育てができること。					
	事業を 構成する 事務事業	①	子育て支援センター運営事業	拡充	④		
	②			⑤			
	③			⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	事業費(A)	千円	決算	予算			2,883	3,001
決算						3,113	3,384	
人件費(B)	千円	決算			3,112	4,294		
総コスト(A)+(B)	千円	決算			6,225	7,678		

成果推移	成果指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
	A 市内の子ども及び子育て中の保護者の来館者数	人	目標	23,000	23,000	23,000	24,960	24,960
			実績	21,825	22,062	20,259	24,673	
	B		目標					
			実績					
C		目標						
		実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 前年度実施からの増加（平成28年度からは、子ども・子育て支援事業計画の数値に変更）								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 近隣の実施市町：瀬戸市、尾張旭市、日進市、豊明市、東郷町
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 目標達成はできていないが、来館者数に対して定員超過を理由に制限を行ったことはなく、全ての来館者の受け入れはできている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 今後も、子育て支援センター運営事業に対する一定のニーズは継続していくものと考えられるため、引き続き事業の拡充に努める。

今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 今後も引き続き、利用者が参加しやすい環境づくりに努めていく。
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 本市では引き続き児童数が増加傾向にあることから、こうした状況に対応できる体制を構築していきたい。

# 長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

		事業名		子育て支援センター運営事業									
番号	①	事務事業名	子育て支援センター運営事業	款	3	項	2	目	1	大事業	8	中事業	1
事務事業の期間	事務事業開始年度		平成20年度		終了（予定）年度		—						

## 1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか)
	市内の子育て中の親子に対し、子育て支援センターを運営することで、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進を図る。
意図	(対象をどのような状態にしたいか)
	子育て中の保護者を安心して子育てができるようにする。

## 2. コスト推移

項目	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
事業費	千円	予算			948	3,001	2,555
		決算			1,185	3,384	

## 3. 活動推移

活動指標	単位	区分	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
来館者数	人	目標	23,000	23,000	23,000	24,960	24,960
		実績	21,825	22,062	20,259	24,673	
		目標					
		実績					

## 4. 事務事業を取り巻く環境変化

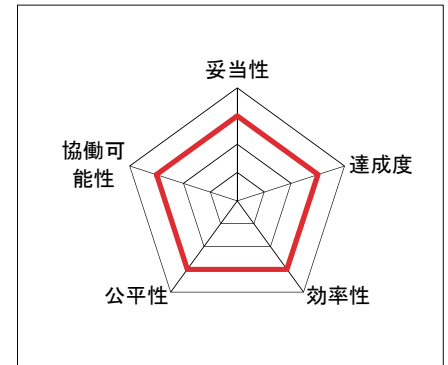
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
今後も子育て支援センター事業に対するニーズは高まっていくものと思われる。

## 5. 前年度からの改善状況

<参考：前年度の事務事業評価のコメント>
平成28年度から、地域に出向いて行う「リズム遊びぴよんぴよん」等を実施する際に、保健師が同行して「まちの保健師」活動に従事するなど、事業の拡充を図っている。
(何をどのような状態に改善したのか)
「リズム遊びぴよんぴよん」等に従事する者を保健師を含む形として、事業実施中にも気軽に相談できる体制とした。

## 6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	3



### 【アピールポイント】

(活動内容でアピールしたいこと、良かったことなど)
利用者ニーズを捉え、年々事業の拡充を進めることができています。

### 【ウイークポイント】

(活動内容で失敗したこと、改善が必要なことなど)
施設規模、人員配置上、事業規模としては現状維持となるため、継続した内容の精査等が求められている。

## 7. 今後の方向性

拡充

### 【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)
引き続き、地域に出向いての事業実施を意識していくとともに、施設内で実施している事業についても、より魅力的なプログラムとなるよう改善を図り、利用者ニーズに沿った内容としていく。